

町家型集合住宅

背割り水路を中心とした町家生活のリデザイン

明治大学大学院	川島悠都
金沢工業大学大学院	河形信和
福井大学大学院	横村友哉
東京工業大学大学院	斎藤寛彰
九州大学大学院	石神絵里奈

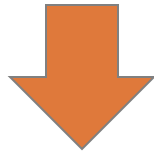
街歩きから得た印象

問題点

- ・ 町家の住環境が良好でない
- ・ 中心市街地の空洞化
- ・ 進む高齢化
- ・ 公共の緑の不足

良いところ

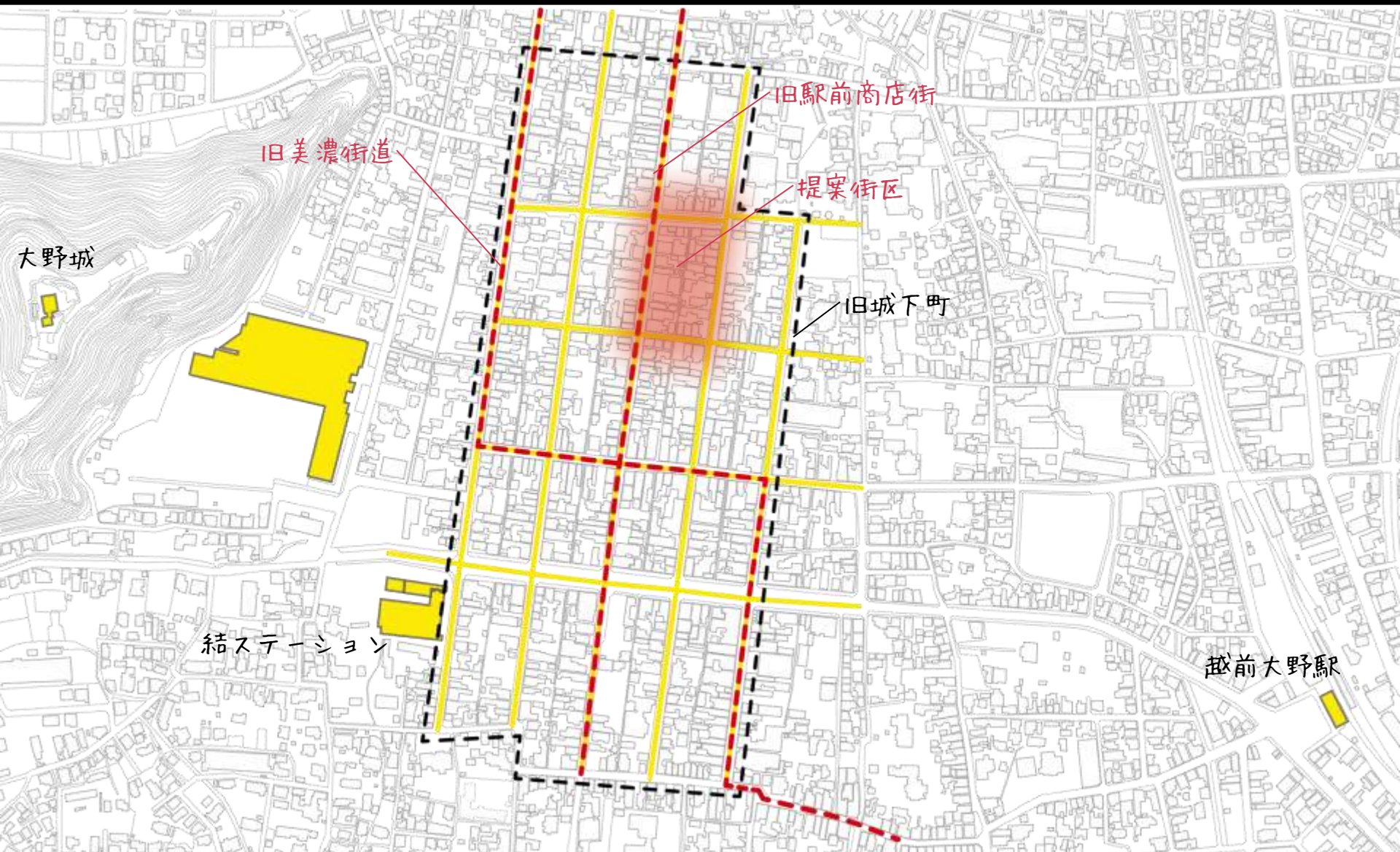
- ・ 昔の町並みが所々残っている
- ・ 街区内部の庭の空間



裏の空間を活かしていくことで、居住者にとって望ましい環境を創出できるのではないか



提案街区



計画対象地

①. 既存の町家が比較的多く存在する区画

⇒今いる住民と流入者の関係が築きやすい

②. 裏に庭を有する町家形式の住宅が比較的多い

⇒“裏”に連続的な空き地を確保することができる

③. 一方で裏側の空間が十分活用されていない

⇒背割りを中心とした新たな提案の可能性

石灯笼通り

八間通り

三番通り

四番通り



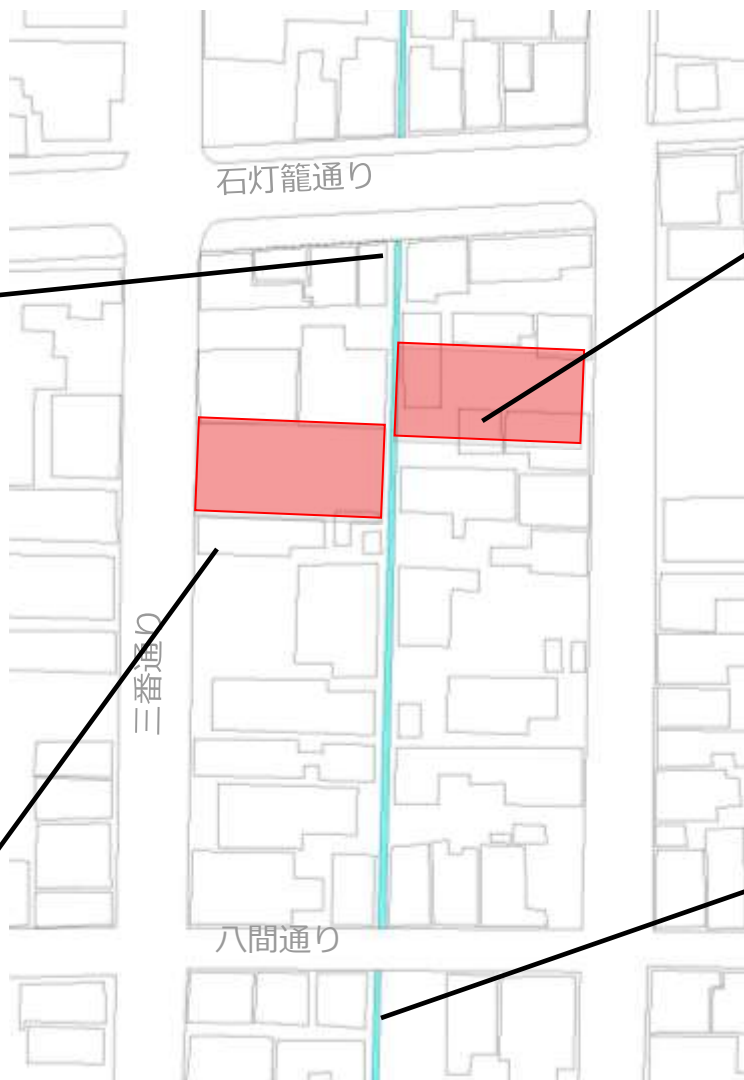
敷地分析



1. 石灯籠通りからの見え掛かり



2. 住まい手の個性が光る裏庭



3. 開放的な建物裏側の活用



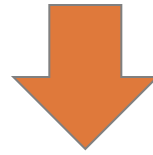
4. 背割りを越えて混じり合うそれぞれの生活

若者が住みたいと思える新しい「町家」を！

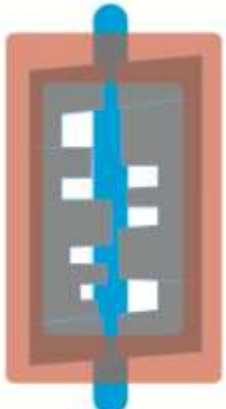
- ①豊かな外部空間をもち、ゆったりとまちなかで生活することができる住宅
- ②現在の住民とこれから住まう新しい住民とが、共存することが出来る住宅
- ③背割コミュニティを使った新しいライフスタイルが生まれる場



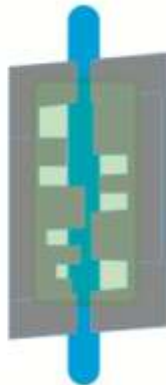
隣地や背割水路を挟んだ複数の敷地を一体的に開発



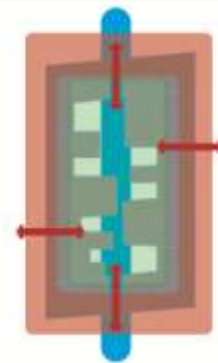
“オモテ”と“ウラ”のギャップ



街区に住む人たちの生活や会話が自然と溢れだす



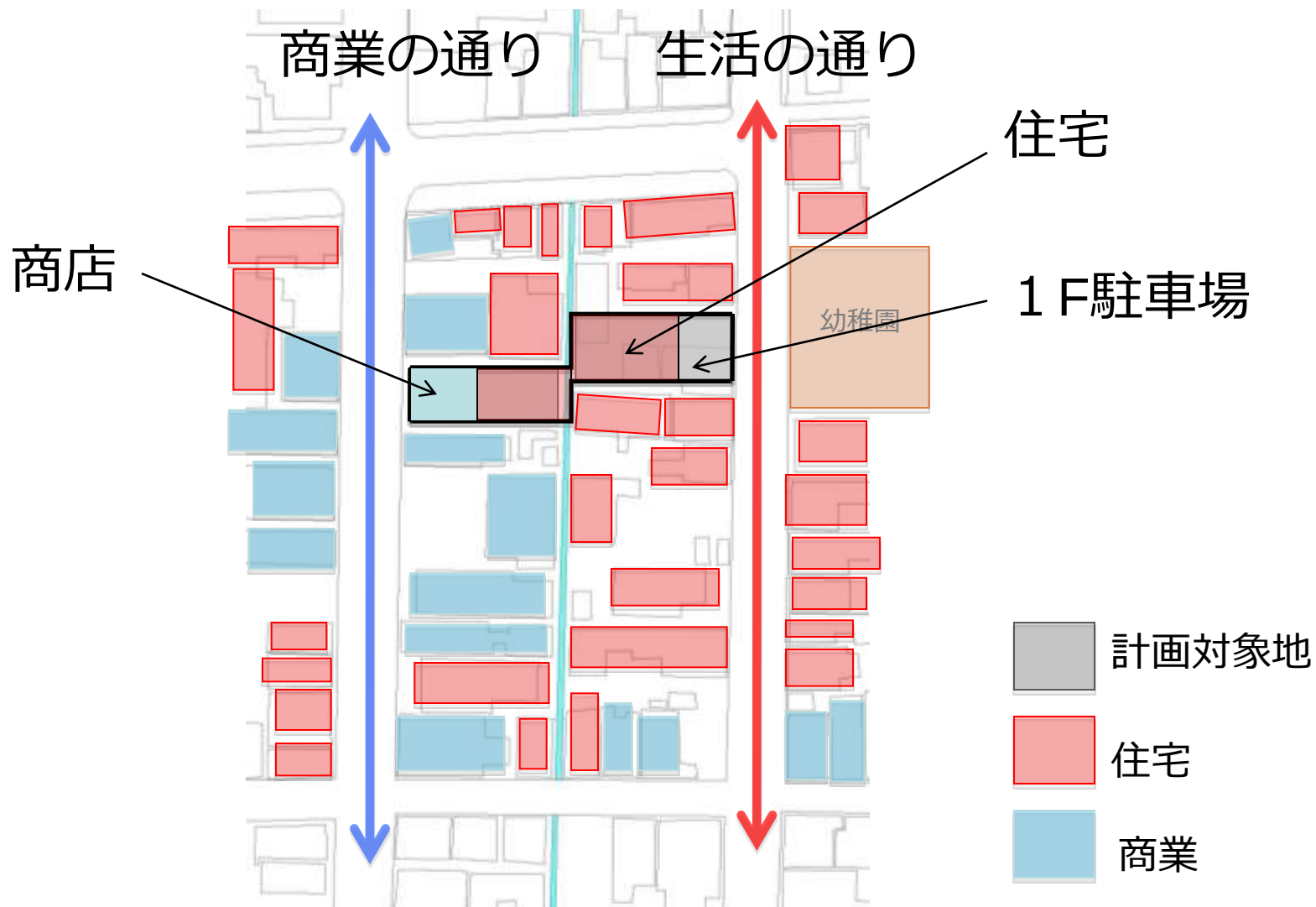
伝統的町家が連続する街並み
→生活があまりしみだしていない



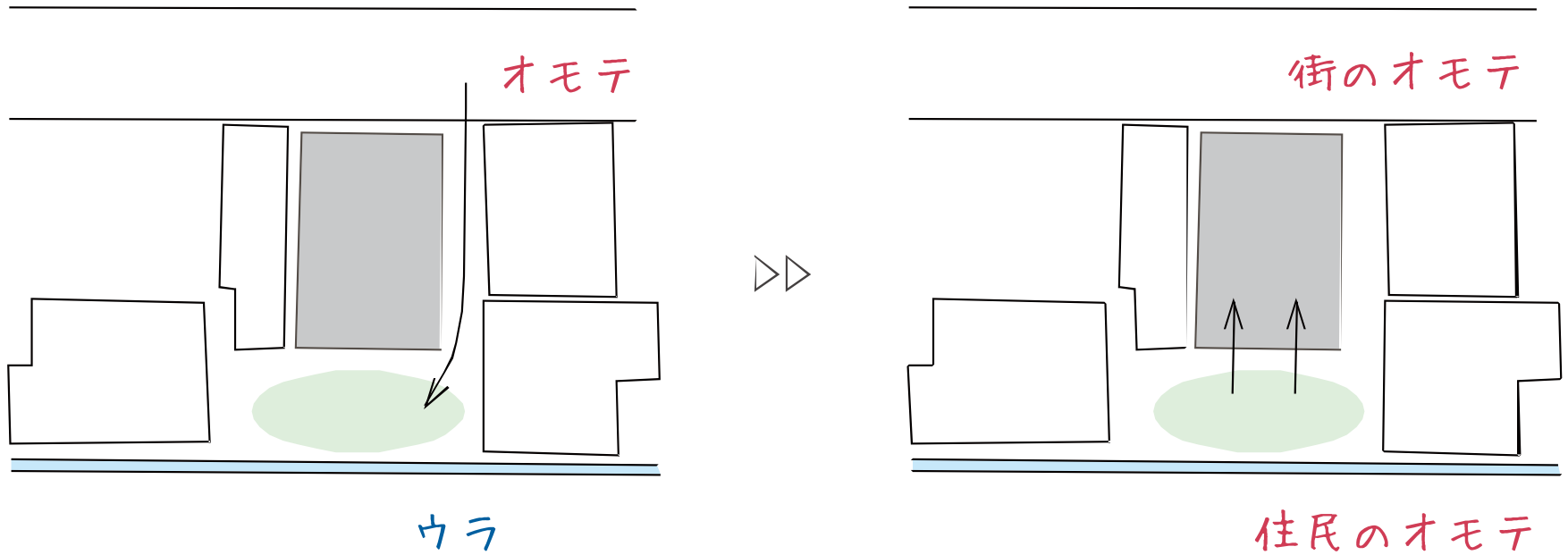
オモテを歩いている、ふとウラの空間が垣間見える背割越しの風景



敷地の現状と計画



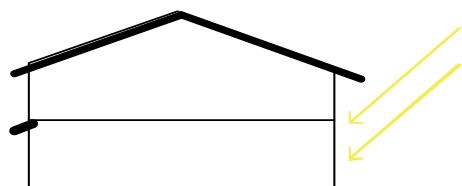
ダイアグラム（配置と動線計画）



“オモテ”から共用スペースへと一度引き込み、
“ウラ”の共用スペースから各住戸へアクセスする。

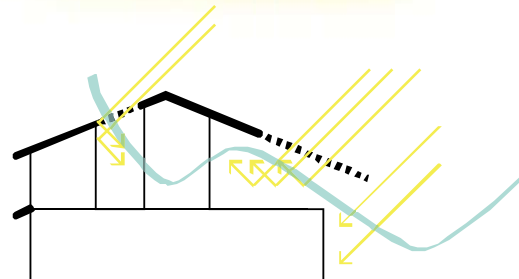
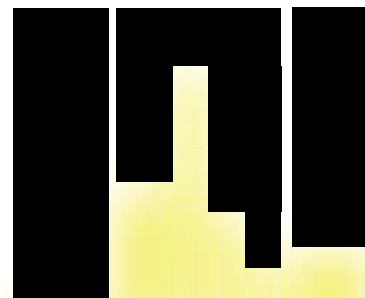
→ 本来“ウラ”の空間である背割スペースを“オモテ”として使用する
ことによって、背割をきれいに使うという意識が生まれる。

ダイアグラム（建物形状）



従来の伝統的町家形式

長所：風情のある街並みを構成
短所：側面に開口がなくて暗い
風通しが悪い



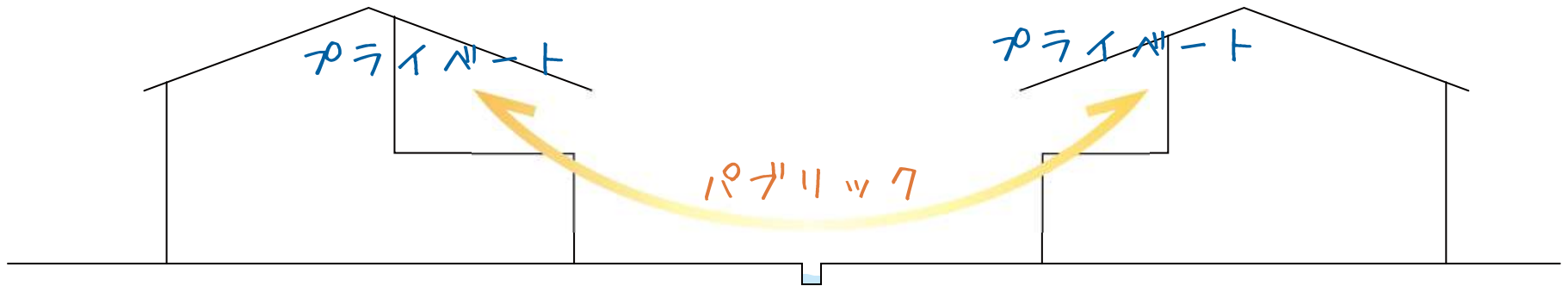
新しい町家的集合住宅

- ・ 風情のある街並みを守る
- ・ 建物内に光と風を呼び込む
- ・ 裏側に開放感のある外部空間を獲得する

ダイアグラム (プライバシー)

背割 → みんなの庭 (パブリックスペース)

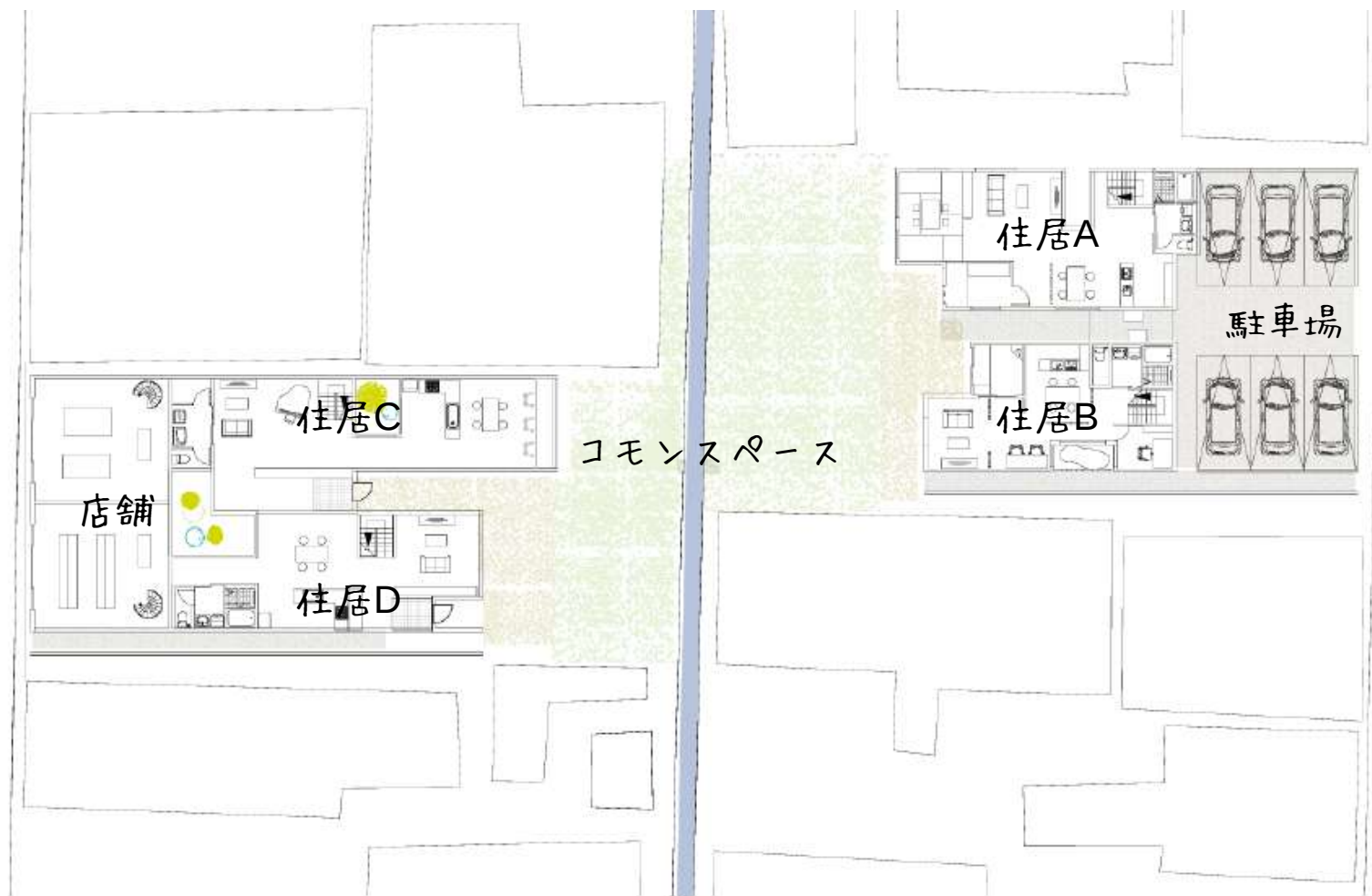
テラス → 個人の庭 (プライベートスペース)



波及効果



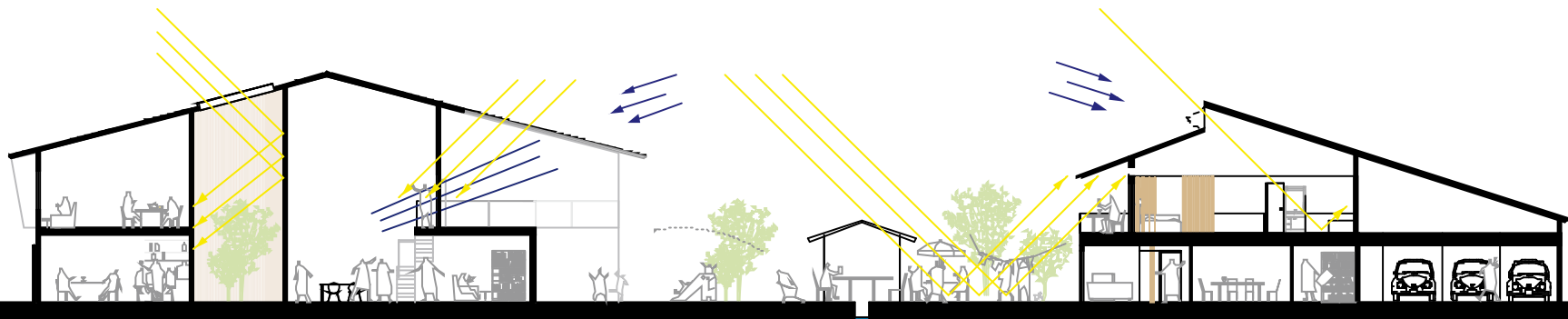
一階平面図



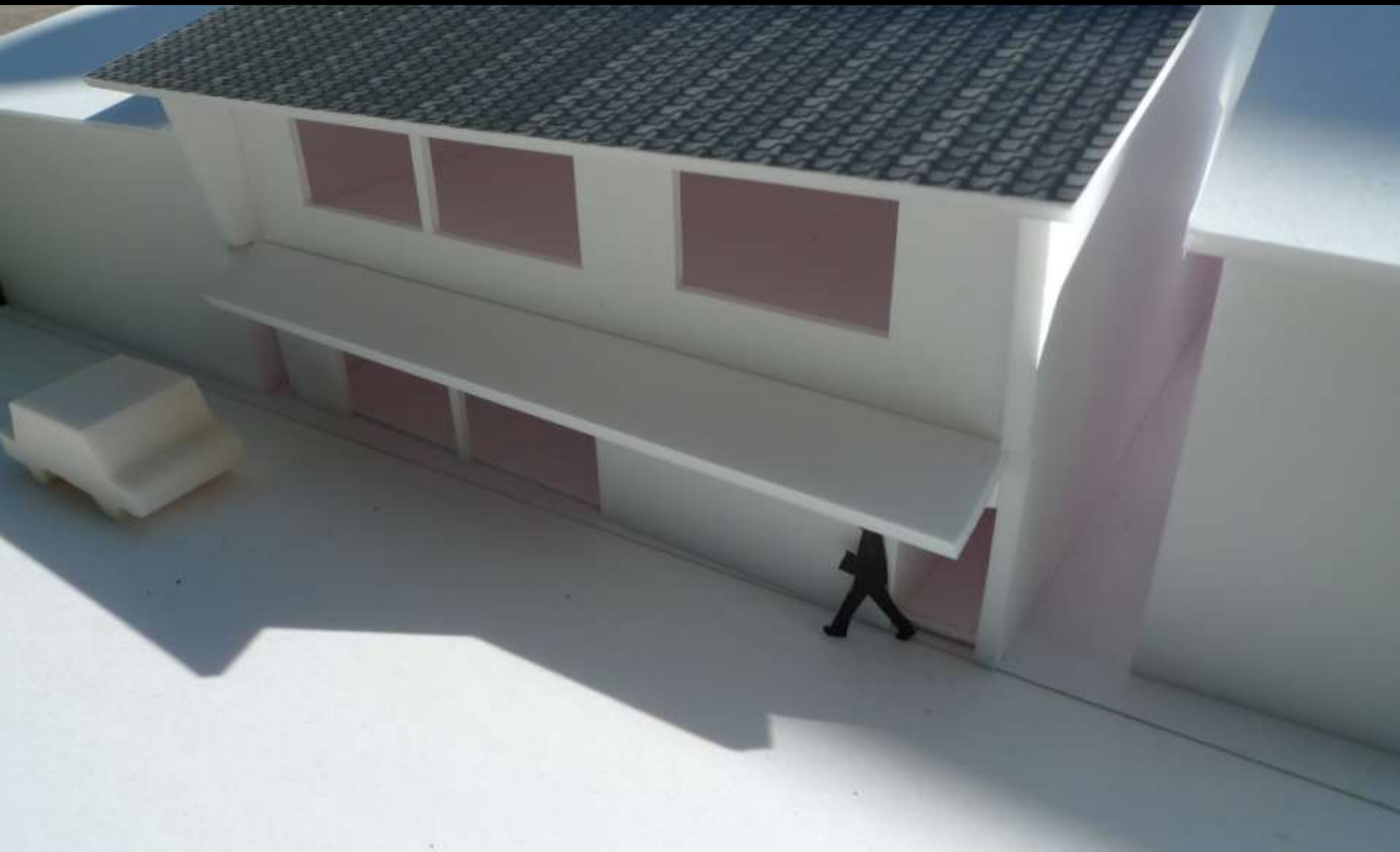
二階平面図



断面图



表通り側の立面



伝統的町家の意匠を継承し、町並みを修景する

コモンスペース



木陰と日だまり、水の流れが心地よい共有空間を演出する

背割り



背割りを軸に人びとが集いともに生活する

プライベートテラス



それぞれの世帯が空と水に開放的なプライベートスペース（テラス）を持つ

プライベートテラス



それぞれの世帯が空と水に開放的なプライベートスペース（テラス）を持つ





ご清聴ありがとうございました。